

特集

議会に行ってみました!!

尚絅大学の学生による議会傍聴レポート

3

議会傍聴レポートも第三回目！今回は新たな試みも加えてみました！

☆今回の感想

発言者によって異なると思いますが、前回よりも聞き取りづらさや抑揚の無さが改善されていると思います。



午前中は傍聴者が多くても、午後からは少なく、議題によって傍聴者の人数に差が出ていました。開催日や時間帯によって傍聴者の数や様子が変わってきます。また、前回は傍聴席にお年寄りや主婦の方が多いように見受けられましたが、今回はスーツを着たサラリーマンの方が多いように感じました。平日にも関わらず忙しい方々が傍聴に訪れることはとても良いことだと思います。ただ、資料の裏表に文がある為めくる

たび音が気になったり、メモが追いつかない時があるので、席に簡易的な机を設置したり、資料の表のみに文を載せるなどしたら、さらに見やすくなると思います。



☆あなたの町はどんな議会？

他の町の議会のことも知ってみよう、同時期に開かれていた菊陽町議会にも傍聴に行ってみました。菊陽町議会は議会だよりに熊本大学の学生が参加しており、町の若い有権者として質問や意見を交換しています。大まかな議会の構成に差はありませんが、大津町は一般質問の答弁への再質問回数が2回まで、菊陽

町は制限なしという差があります。そのため菊陽町は躍動的なやり取りができますが、大津町の議会は少ない再質問回数を有効に使うため、洗練された答弁が行われています。レポートもなだらかなので、整理しつつ理解を深めながら聞くのはつづつです。皆さんも自分の町以外の議会を傍聴することで、自分の町の議会の長所と短所をもっと実感できるかもしれません。

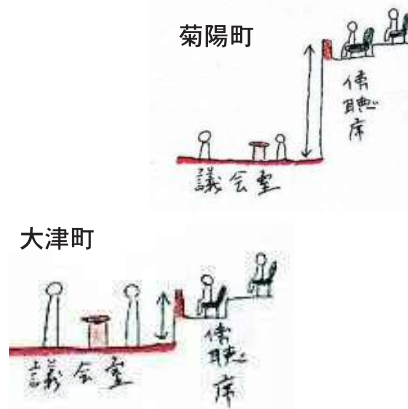
☆傍聴席からの声

傍聴していて、傍聴席の他の傍聴者の方が、議会中に「もっと詳しく深い所まで聞きたい」「まだこの話は着手されていない」等とおっしゃっている様子がありました。傍聴者には「傍聴者アンケート」が配られています。アンケートの書きやすさや、議会に反映されやすい環境作りはつねに意識する必要があります。



☆傍聴メモ

大津町と菊陽町の傍聴席は高さが違います！大津町は近い所から、菊陽町は見晴らしの良い所から傍聴できます。



今回も新しい気づきや、引き続き注目していきたい事等、沢山の収穫がありました。次回も何か新しい事に気付いて挑戦していければと思います。最後まで読んでいただき、ありがとうございました。今回記事を担当いたしましたのは、尚絅大学SLC(サービスマーケティング部)の川田と古荘でした！